

十 勝 毎 日 新 聞

2022年(令和4年)5月25日(水曜日) (17)

ドローン活用 鳥獣駆除協定

村とキャリアオ技研

【更別】更別村は、3次元のデータ収集・活用などを手掛けるキャリアオ技研（本社名古屋、富田茂社長）との連携協定を締結した。同社は南十勝の鳥獣駆除や遭難者捜索でドローンの活用を目指しており、協定締結もその一環。

同社は2018年、幕別、大樹、広尾の3町と連携協定を締結。更別村との連携協定締結により、南十勝エリアの自治体と連携体制の基盤が整った。鳥獣が自治体間を移動することから、駆除を広域で行うことを目指している。同社の関連会社「ジュラテクノロジー」（大樹町、富田社長）が十勝での窓口を担う。

16日、更別村役場で締結式を行い、西山猛村長や富田社長らが出席。富田社長は「更別でも（ジュラテクノロジーの）新規の事業所を構えたい」と意欲を見せ、「更別のICT（情報通信技術）などを活用した取り組みは先進的。鳥獣の駆除などにとまらない新たな連携も模索したい」と語った。

西山村長は「更別でもクマやエゾシカなどの鳥獣被害が毎年1000万円ほど出ている。協定を結んでい

る3町とも協力し被害を減らしたい」と話した。



協定書を交わした（右から）西山村長、富田社長